



名古屋市立大学
光が切り拓く新たな研究開発拠点形成

アナログから デジタル時代の変化に 伴う研究のあり方

2025年12月10日(水)
18:30 - 19:30

<https://ncu-light.jp/>

講演

アナログからデジタル時代の変化に伴う研究のあり方

概要

睡眠研究は急速に進展し、時計遺伝子に続くオレキシンの発見は、いずれノーベル賞に値する重要な成果となる。睡眠医療の革新は、アナログからデジタル記録への移行と深く関係する。社会や文化もまた、アナログとデジタルの二極化が顕著である。デジタルネイティブのタイムフォーマンスを重視する観点から見ると、繰り返し行われる単純作業を伴う研究の意義はどう映るのであろう。デジタルの世界に生きながらもアナログ的な視点を持つ共有認識をもとに、研究のあり方について改めて議論を深めたい。

座長

森田明理

名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学教授

講師

中山明峰先生

めいほう睡眠めまいクリニック院長

大阪公立大学耳鼻咽喉科講座・非常勤講師

台湾成功大学耳鼻咽喉科講座・客員教授

中国大連医科大学耳鼻咽喉科講座・客員教授



1985年

1988年-1992年

1992年-1995年

2001年-2007年

2008年-2020年6月

2011年-2020年6月

2018年-

2020年7月-2021年5月

2021年6月-

愛知医科大学医学部卒業

愛知医科大学大学院卒業・医学博士修得

米国南イリノイ大学耳鼻咽喉科留学

愛知医科大学耳鼻咽喉科助教授

名古屋市立大学耳鼻咽喉科准教授

名古屋市立大学病院 初代睡眠医療センター長

台湾成功大学医学部 睡眠医療中心・客員教授

仁愛診療所名駅睡眠医療センター長

めいほう睡眠めまいクリニック院長

※参加URLは、後日こちらより招待メールを送信させていただきます。参加ご希望の方は皮膚科秘書・hihuka@med.nagoya-cu.ac.jpまでご連絡ください。

光が切り拓く新たな研究開発拠点事務事務局

名古屋市立大学大学院・医学研究科
加齢・環境皮膚科学
TEL: 052-853-8261